

Unit 0.1 フルスクリーン

0.1.1 一番簡単なフルスクリーン対応

ナビゲーションバーやツールバーはとても便利だが、これらを利用することで表示領域が狭くなるという欠点がある。画面によっては、ナビゲーションバーやツールバーを非表示にし、大きな画面に情報を表示したい場合もあるだろう。もっと言えば、常に表示されているステータスバーまで非表示にしたい場合もあるだろう。これらを全て非表示にすると iPhone の全画面「320 x 480」ピクセルの領域をフル活用することができる(図 0.1-1)。

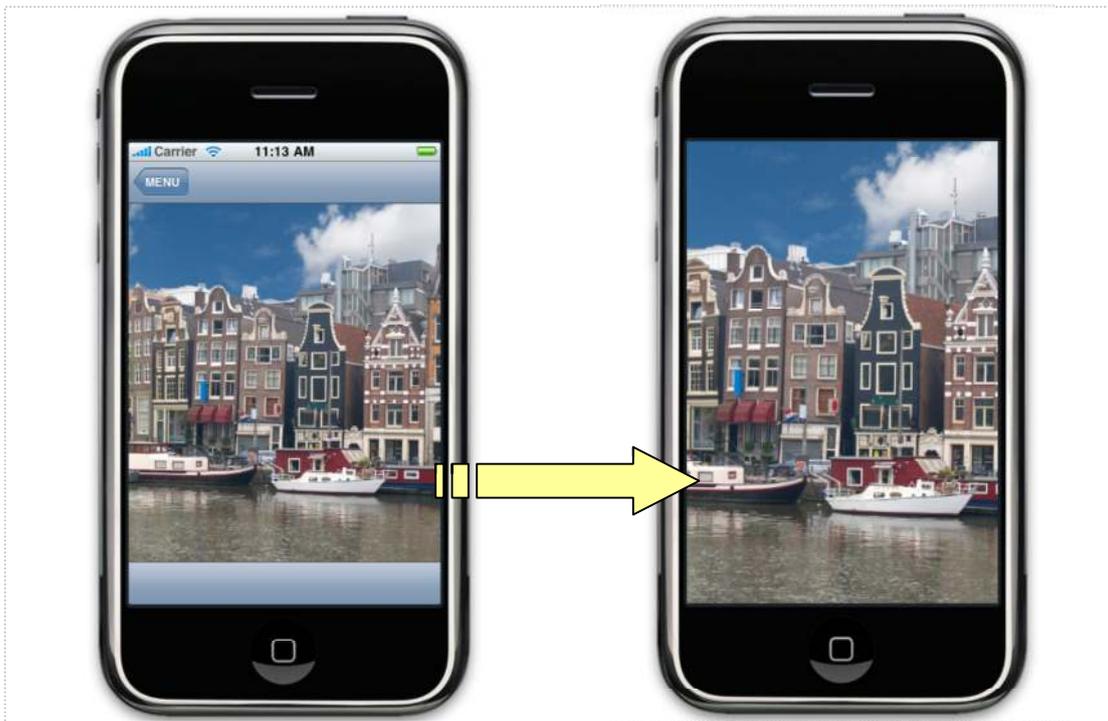


図 0.1-1 フルスクリーン画面 ※non fullscreen.png / fullscreen.png

このようなフルスクリーンを実現するには、ステータスバーには `UIApplication` の `setStatusBarHidden:animated:` メソッド、ナビゲーションバーには `UIViewController` の `setNavigationBarHidden:animated:` メソッド、ツールバーには `UIViewController` の `setToolBarHidden:animated:` メソッドをそれぞれ利用して非表示設定する。具体的なコードを以下に示す。

```
// ステータスバーを非表示にする
[[UIApplication sharedApplication] setStatusBarHidden:YES animated:YES];
// ナビゲーションバーを隠す
[self.navigationController setNavigationBarHidden:YES animated:YES];
// ツールバーを隠す
[self.navigationController setToolbarHidden:YES animated:YES];
```

以上が Apple のドキュメントで推奨されているフルスクリーンの実現方法だ。

OS 3.0

0.1.2 もっとスマートなフルスクリーン切り替え

しかし、前項のフルスクリーンの方法だと、プリインストールの「写真」アプリ等と比較すると、少し見た目のスマートさにかける。「写真」アプリではステータスバーやナビゲーションバーがはじめから半透明になっており、かつ、画面をタップしたときに、各バーがじわじわと透明になっていき、フルスクリーンに切り替わるのだ(図 0.1-2)。



図 0.1-2 「写真」アプリのフルスクリーン

※photo default.png / photo fullscreen.png